

GAP拡大の推進

【令和2年度予算額 306（694）百万円】
 （令和元年度補正予算額 100百万円の内数）

<対策のポイント>

持続可能な農業構造の実現を図る観点から、農業者にとってメリットの大きい団体認証の取得推進、農業教育機関や輸出に取り組む農業者等への支援など、**国際水準GAPの取組の拡大に向けた取組を支援**します。

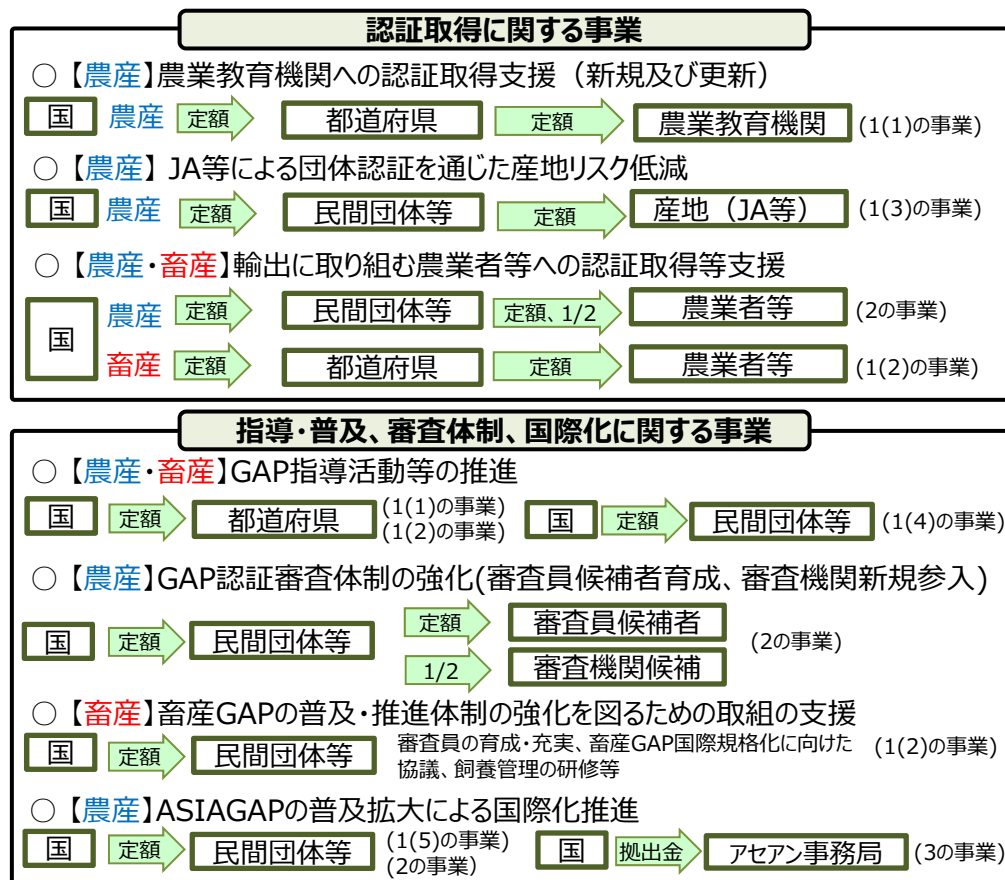
<政策目標>

- ほぼ全ての国内の産地で国際水準GAPを実施 [令和12年度まで]
- GAP共通基盤ガイドラインを国際水準に改訂 [令和2年度まで]
- 日本発GAP認証（ASIAGAP）をアジアで主流の仕組み（デファクトスタンダード）とする [令和12年度まで]
- 畜産GAP認証取得経営体数の増加及び国産畜産物に対する評価の向上

<事業の内容>

- 1. 持続的生産強化対策事業のうち
GAP拡大推進加速化事業 283（661）百万円**
 - (1) 国際水準GAP普及推進交付金**
 - 国際水準GAPの取組の拡大に向け、**指導員による指導活動や農業教育機関の認証取得を、都道府県向け交付金により機動的に支援**します。
 - (2) 畜産GAP拡大推進加速化**
 - 畜産GAPの普及・推進体制の強化に向け、**指導員等の育成やGAP認証取得等の取組を支援**します。
 - (3) 団体認証の取得推進による産地全体のリスク低減実証**
 - 産地におけるGAPの団体認証取得等を通じて、**農作業事故等の産地リスクを分析評価し、低減する取組を支援**します。
 - (4) 改訂GAPガイドライン普及促進**
 - 国際水準に改訂したGAP共通基盤ガイドラインを普及促進するための**研修会を開催する取組を支援**します。
 - (5) 日本発GAPの国際化推進**
 - 日本発GAP認証（ASIAGAP）の利用拡大及び輸出促進のため、**海外実需者に対する研修等の取組を支援**します。
 - 2. グローバル産地づくり緊急対策事業（令和元年度補正予算）のうち
有機JAS認証、GAP認証取得等支援 100百万円の内数**
 - 農産物の輸出拡大に向け、**GAP認証（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP）の取得等や審査体制の強化、ASIAGAPの普及拡大の取組を支援**します。
 - 3. 日・アセアン連携によるGAP認知度向上推進 23（20）百万円**
 - 日本発GAP認証のアジアにおける認知度向上のため、**アセアン各国との情報交換や必要な調査等を行う調整員をアセアン事務局に派遣**します。
- (関連事業) 農業経営確立支援事業 422（575）百万円の内数**
- 農業大学校等における**国際水準GAPに関する新たな教育カリキュラムの作成・実施の取組を支援**します。

<事業のイメージ>



【お問い合わせ先】 生産局農業環境対策課 (03-6744-7188)
 生産局畜産振興課 (03-6744-2276)

GAP拡大の推進（認証取得支援関係）

【令和2年度予算額 139百万円の内数】
 （令和元年度補正予算額 100百万円の内数）

<背景>

GAP認証の取得は、販売戦略、取引先からの要請等に基づき、農業者が判断することが基本。
 GAP認証農産物を取り扱う意向を有する事業者が増加傾向にあるなど、**農業者自らの経営判断で認証取得する環境が整いつつある中、農業者にとってメリットの大きい団体認証の取得推進や、将来の農業を担う人材の育成、輸出拡大などの目的に応じた認証取得を推進。**

<政策目標>

- ほぼ全ての国内の産地で国際水準GAPを実施 [令和12年度まで]

<事業の内容>

1. 持続的生産強化対策事業のうちGAP拡大推進加速化事業

（1）国際水準GAP普及推進交付金（新規） 92（-）百万円の内数

- 農業教育機関によるGAP認証の新規取得及び維持・更新を、都道府県向け交付金により支援します。

（2）団体認証の取得推進による

産地全体のリスク低減実証（新規） 47（-）百万円

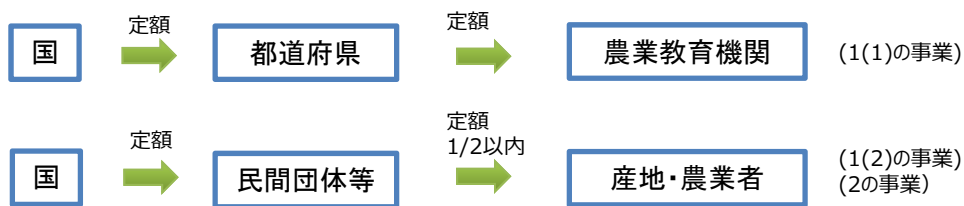
- JA等の産地によるGAPの団体認証取得等を通じて、農作業事故等の産地リスクの低減効果を分析評価し、実証する取組を支援します。

2. グローバル産地づくり緊急対策事業（令和元年度補正予算）のうち

有機JAS認証、GAP認証取得等支援 100百万円の内数

- 輸出に取り組む農業者によるGAP認証（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP）の新規取得や輸出向け商談等の取組を支援します。

<事業の流れ>

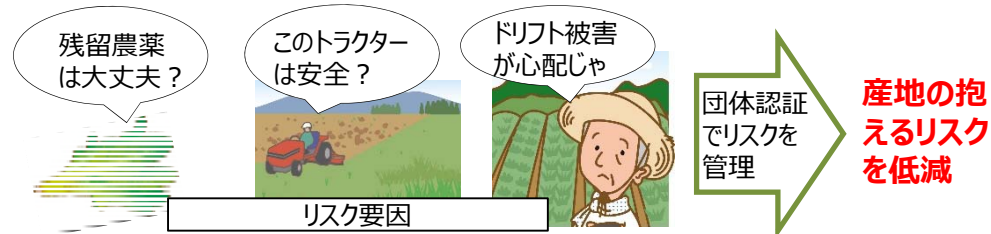


<事業のイメージ>

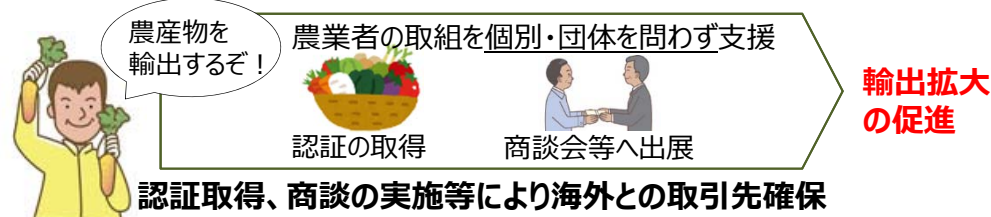
1（1）農業教育機関の認証取得（新規及び更新）に対する支援



1（2）JA等による団体認証を通じた産地リスクの低減



2 輸出に取り組む農業者の認証取得等に対する支援



【お問い合わせ先】生産局農業環境対策課（03-6744-7188）

GAP拡大の推進（指導・普及、審査体制、国際化関係）

【令和2年度予算額 129百万円の内数】
 （令和元年度補正予算額 100百万円の内数）

<背景>

指導・普及：国際水準GAPの取組を拡大に向け、都道府県のGAP指導体制の下、**国際水準に改訂したGAP共通基盤ガイドラインに基づく指導を推進。**

審査体制：GAP認証取得のボトルネックとなっている**GAP認証審査体制を強化し、**農業者の経営判断に基づく認証取得を側面から支援。

国際化：ASIAGAPをアジアで主流の仕組みとするため、利用拡大や国際承認対応、認知度向上といった**普及拡大に向けた取組を多角的に支援。**

<政策目標>

- ほぼ全ての国内の産地で国際水準GAPを実施 [令和12年度まで]
- GAP共通基盤ガイドラインを国際水準に改訂 [令和2年度まで]
- 日本発GAP認証（ASIAGAP）をアジアで主流の仕組み（デファクトスタンダード）とする [令和12年度まで]

<事業の内容>

1. 持続的生産強化対策事業のうちGAP拡大推進加速化事業

(1) 国際水準GAP普及推進交付金（新規） 92（-）百万円の内数

- 現地指導や集団指導等のGAP指導員による指導活動を、都道府県向け交付金により機動的に支援します。

(2) 改訂GAPガイドライン普及促進（新規） 6（-）百万円

- 国際水準に改訂したGAP共通基盤ガイドラインを普及促進するための研修会を開催する取組を支援します。

(3) 日本発GAPの国際化推進（継続） 8（10）百万円

- 日本発GAP認証（ASIAGAP）に関する海外実需者向け研修や、海外での商談会開催等の取組を支援します。

2. グローバル産地づくり緊急対策事業（令和元年度補正予算）のうち

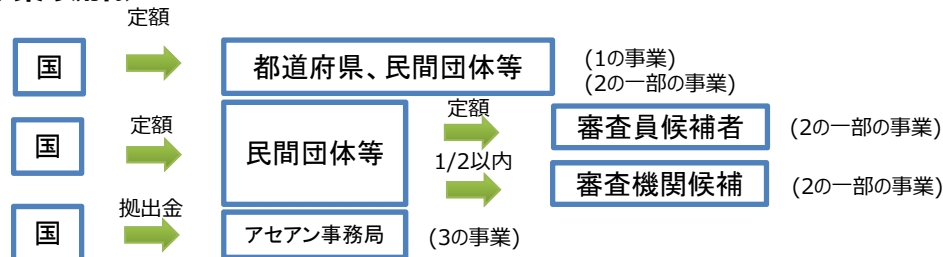
有機JAS認証、GAP認証取得等支援 100百万円の内数

- 審査員候補者の育成及び審査機関の新規参入の取組を支援します。
- ASIAGAP基準書の改訂や啓発資料の翻訳、海外向け情報発信等の取組を支援します。

3. 日・アセアン連携によるGAP認知度向上推進（拡充） 23（20）百万円

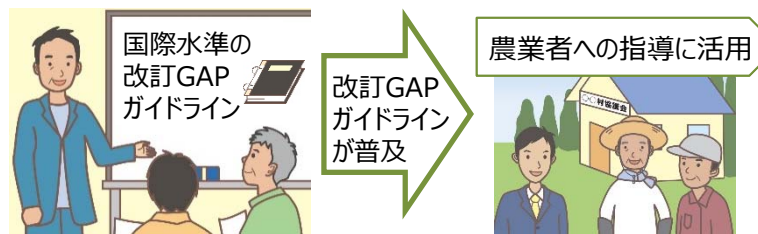
- アセアン事務局に調整員を派遣し、アセアン各国との情報交換やニーズ調査、ASIAGAPに関するセミナー開催等の取組を実施します。

<事業の流れ>



<事業のイメージ>

1 (1) 及び (2) 改訂GAPガイドラインを活用した指導活動の推進



国際水準GAP
の取組が定着

2 GAP認証審査体制の強化

現状



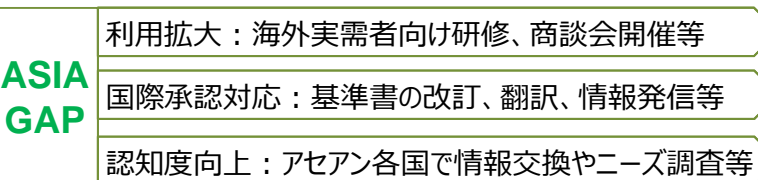
審査員候補者の研修受講、
審査機関の新規参入の取組を支援

認証取得の
円滑化のため
の環境を整備

審査件数の増大により、
新規の認証取得が遅延

審査体制の強化

1 (3)、2 及び 3 ASIAGAPの国際化の推進



ASIAGAPが
アジアで主流
の仕組みへ

普及拡大に向け多角的に支援

【お問い合わせ先】生産局農業環境対策課（03-6744-7188）